

決算補足説明資料

26/12月期 上半期

2026年08月14日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

Contents

1. 26/12月期 上半期連結業績
2. 26/12月期 通期連結業績予想
3. トピック

将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益を基に、営業取引から発生した為替差損益、その他の営業収益・費用を調整し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加算し算出しております。
連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価するうえでも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

会計基準について

営業利益に関し、外貨建て現預金残高が多いために生じる為替評価の変動幅を低減し、事業の成果をより簡潔に把握できるようにするため、IFRS18号を早期適用しております。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て
比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益
〇〇/12月期：20〇〇年12月期

26/12月期 上半期連結業績

- 1Qから引き続き高い進捗率で推移し、上半期予想を上回り着地
- センクシアの新規連結、及び事業成長と為替の円安効果により増収増益
- 部品・材料セグメントでは、テイボーは増収増益、浜松メタルワークスは増収減益
- 音響機器関連セグメントでは、AlphaTheta及びJLabともに増収増益

26/12月期 通期連結業績予想

- 上半期は高い進捗率で推移するも、下半期の不確実性を考慮して、期初予想を維持
- 1Qで認識していたリスクのうち、半導体の需給ひっ迫や中東情勢に起因するコスト増が一部顕在化
- 現状のマイナス影響については、関税の還付や販売増等により、吸収できる見込み

Contents

1. 26/12月期 上半期連結業績
2. 26/12月期 通期連結業績予想
3. トピック

センクシアの新規連結*1に加え、事業成長と為替の円安効果により増収増益

単位：百万円	25/12月期 上半期	26/12月期 上半期	増減額	増減率
売上収益	55,811	82,495	+26,683	+47.8%
事業EBITDA	13,491	22,269	+8,777	+65.1%
営業利益	11,104	18,292	+7,187	+64.7%
営業利益率	19.9%	22.2%	+2.3pt	-
当期利益	7,257	12,404	+5,146	+70.9%
平均為替レート（円）				
米ドル	148.6	158.2	+9.6	
ユーロ	162.1	184.5	+22.4	

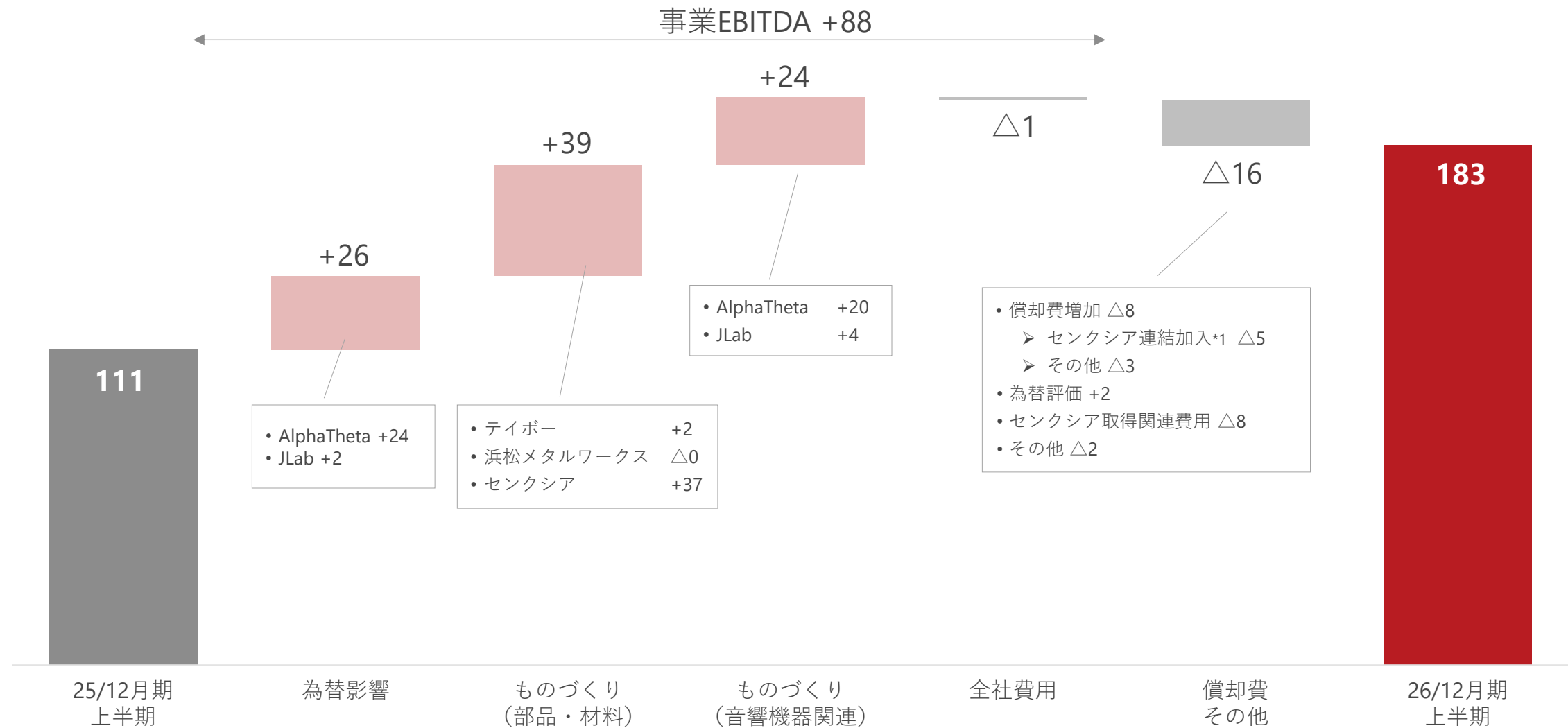
*1 2026年2月より連結開始

単位：百万円	26/12月期 上半期 予想	26/12月期 上半期 実績	進捗率
売上収益	78,400	82,495	105.2%
事業EBITDA	17,100	22,269	130.2%
営業利益	12,100	18,292	151.2%
営業利益率	15.4%	22.2%	-
当期利益	7,800	12,404	159.0%
平均為替レート（円）			
米ドル	150.0	158.2	
ユーロ	178.0	184.5	



対前年同期

単位：億円



*1 PPA実施により認識する無形資産の償却費の概算を含む



- 部品・材料：テイボーは増収増益、浜松メタルワークスは増収減益
- 音響機器関連：AlphaTheta及びJLabは増収増益

単位：百万円			25/12月期 上半期	26/12月期 上半期	増減額	増減率	増減率 為替影響除く
ものづくり (部品・材料)	テイボー	売上収益	4,471	4,783	+311	+7.0%	+4.0%
		事業EBITDA	1,089	1,300	+210	+19.3%	+12.4%
	浜松メタルワークス*1	売上収益	1,227	1,333	+106	+8.7%	+8.7%
		事業EBITDA	222	211	△11	-5.1%	-5.1%
	センクシア*2	売上収益	-	15,266	+15,266	-	-
		事業EBITDA	-	3,679	+3,679	-	-
	小計	売上収益	5,698	21,382	+15,684	+275.2%	+272.9%
		事業EBITDA	1,312	5,191	+3,878	+295.5%	+289.7%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	売上収益	34,297	42,030	+7,733	+22.5%	+11.5%
		事業EBITDA	10,274	14,613	+4,339	+42.2%	+19.3%
	JLab	売上収益	15,815	19,081	+3,266	+20.7%	+13.3%
		事業EBITDA	2,558	3,184	+626	+24.5%	+16.9%
	小計	売上収益	50,113	61,112	+10,999	+21.9%	+12.1%
		事業EBITDA	12,832	17,798	+4,965	+38.7%	+18.8%
全社費用		事業EBITDA	△654	△720	△65	-	-
連結合計		売上収益	55,811	82,495	+26,683	+47.8%	+38.7%
		事業EBITDA	13,491	22,269	+8,777	+65.1%	+45.6%

*1 25/12月期の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

*2 2026年2月より連結加入

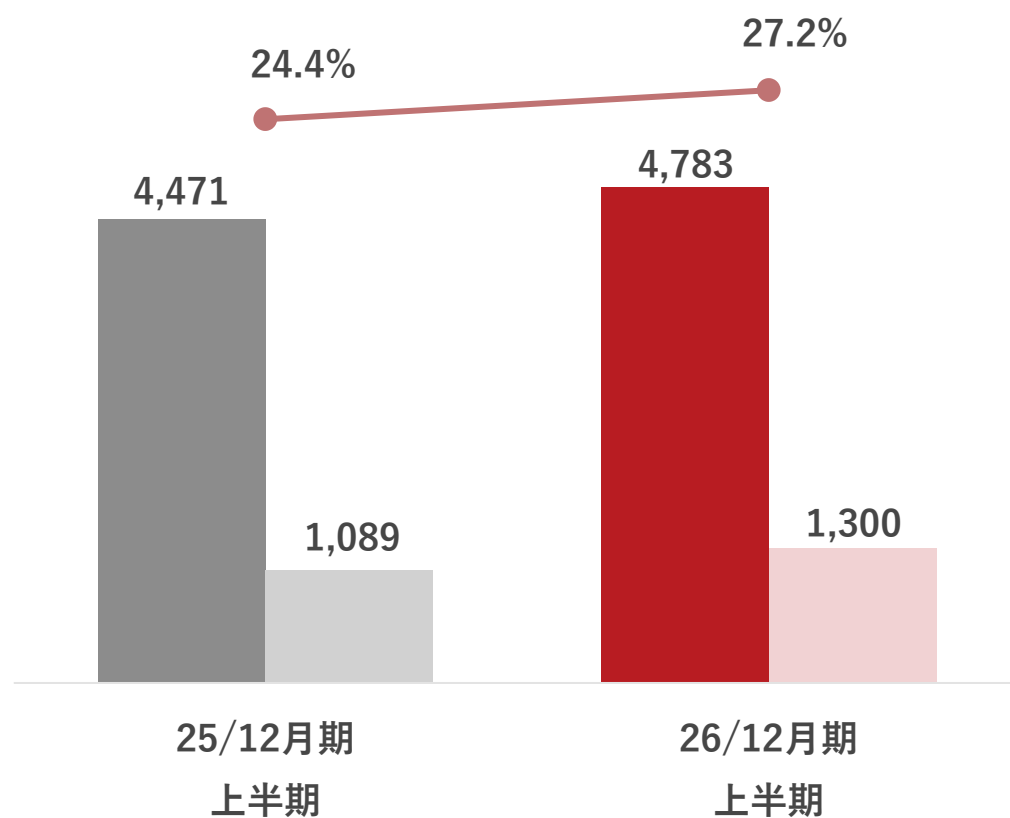
単位：百万円			26/12月期 上半期 予想	26/12月期 上半期 実績	進捗率
ものづくり (部品・材料)	テイボー	売上収益	4,500	4,783	106.3%
		事業EBITDA	1,100	1,300	118.2%
	浜松メタルワークス*1	売上収益	1,300	1,333	102.5%
		事業EBITDA	200	211	105.5%
	センクシア*2	売上収益	16,000	15,266	95.4%
		事業EBITDA	3,500	3,679	105.1%
	小計	売上収益	21,800	21,382	98.1%
		事業EBITDA	4,800	5,191	108.1%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	売上収益	37,700	42,030	111.5%
		事業EBITDA	11,100	14,613	131.6%
	JLab	売上収益	18,900	19,081	101.0%
		事業EBITDA	2,000	3,184	159.2%
	小計	売上収益	56,600	61,112	108.0%
		事業EBITDA	13,100	17,798	135.9%
全社費用		事業EBITDA	△800	△720	-
連結合計		売上収益	78,400	82,495	105.2%
		事業EBITDA	17,100	22,269	130.2%

*1 25/12月期の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

*2 2026年2月より連結加入

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円

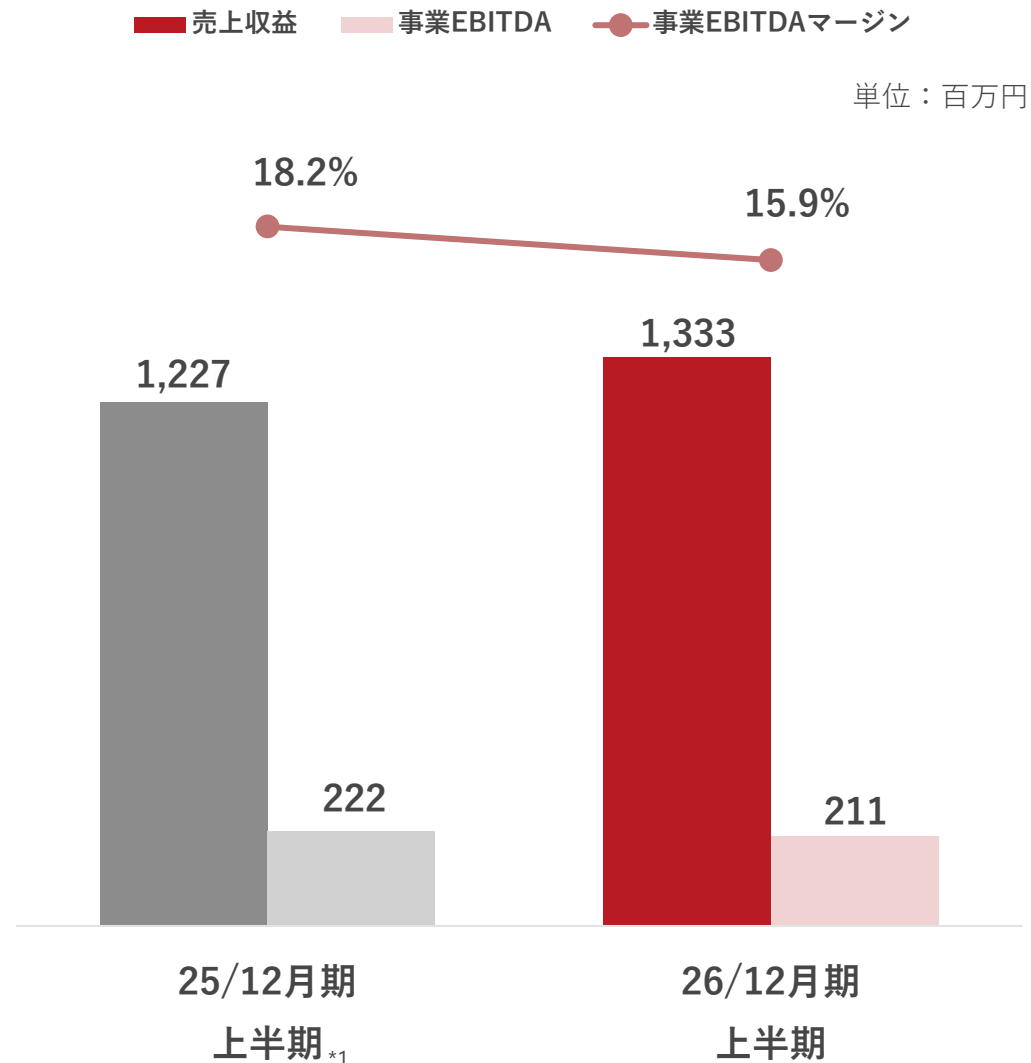


売上収益 +7.0% / 為替影響除く +4.0%

- ・ 筆記及びコスメ分野ともに前年同期を上回り着地

事業EBITDA +19.3% / 為替影響除く +12.4%

- ・ 増収に伴い、増益



売上収益 +8.7%

- 顧客ごとの需要動向に濃淡があるものの、成長基調を維持

事業EBITDA -5.1%

- 製造難易度の高い製品の増産に伴う歩留まり率の低下（原価率の上昇）により減益

*1 25/12月期の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円

売上収益 -1.8%

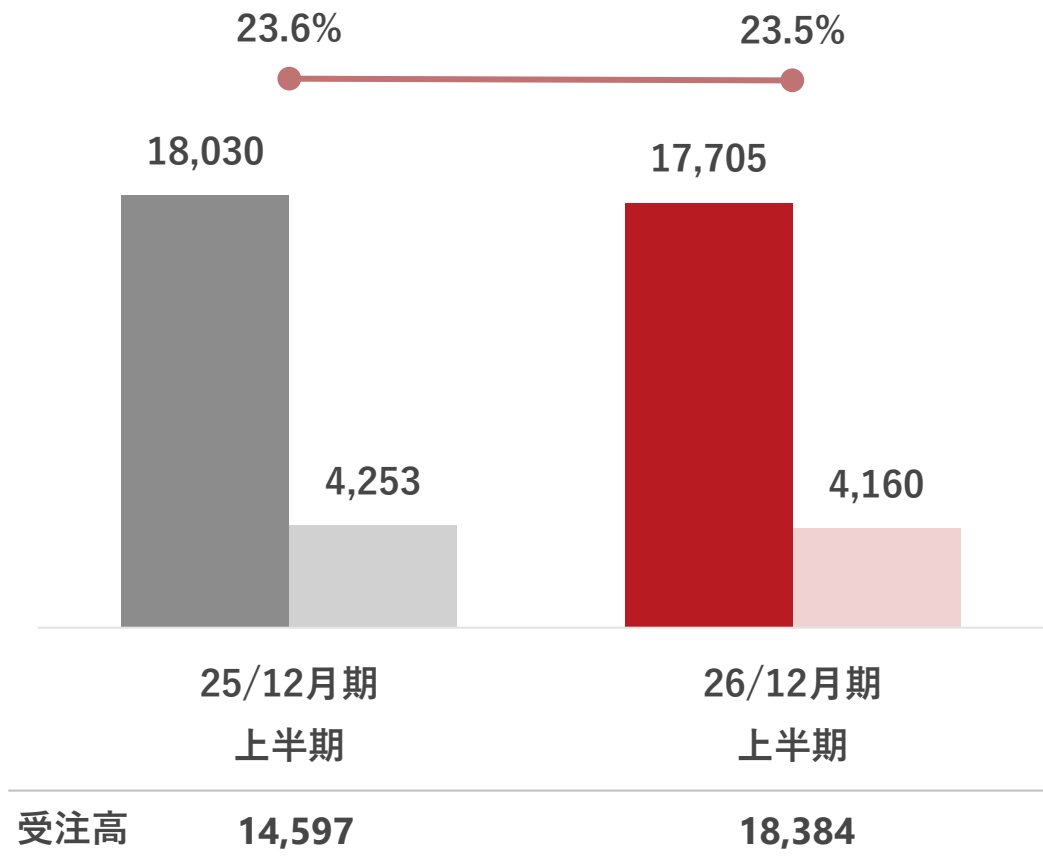
- ・ フリーアクセスフロアにおける前年同期に計上した大型クリーンルーム向け案件の反動減

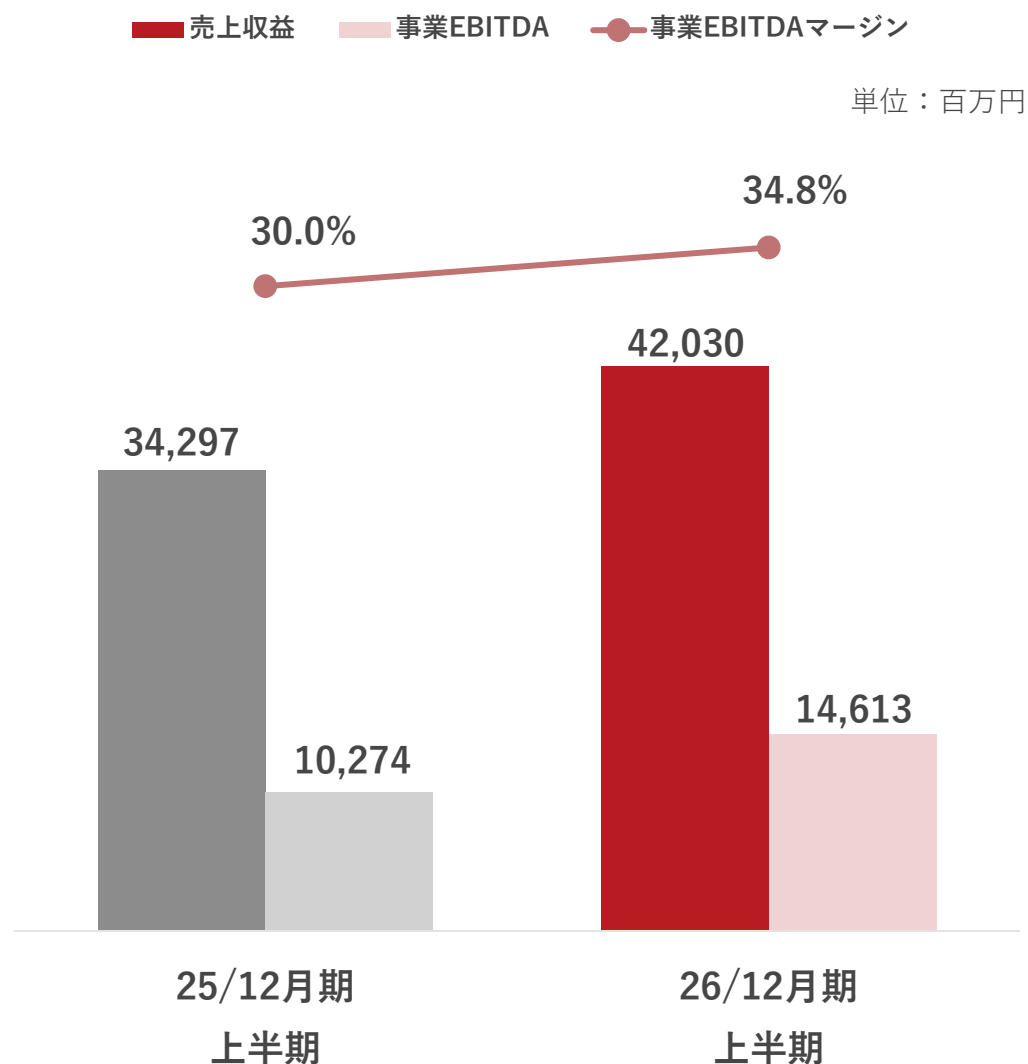
事業EBITDA -2.2%

- ・ 減収に伴い、減益

受注高 +26.0%

- ・ フリーアクセスフロア及び免制震・耐震補強での案件獲得の増加





売上収益 +22.5% / 為替影響除く +11.5%

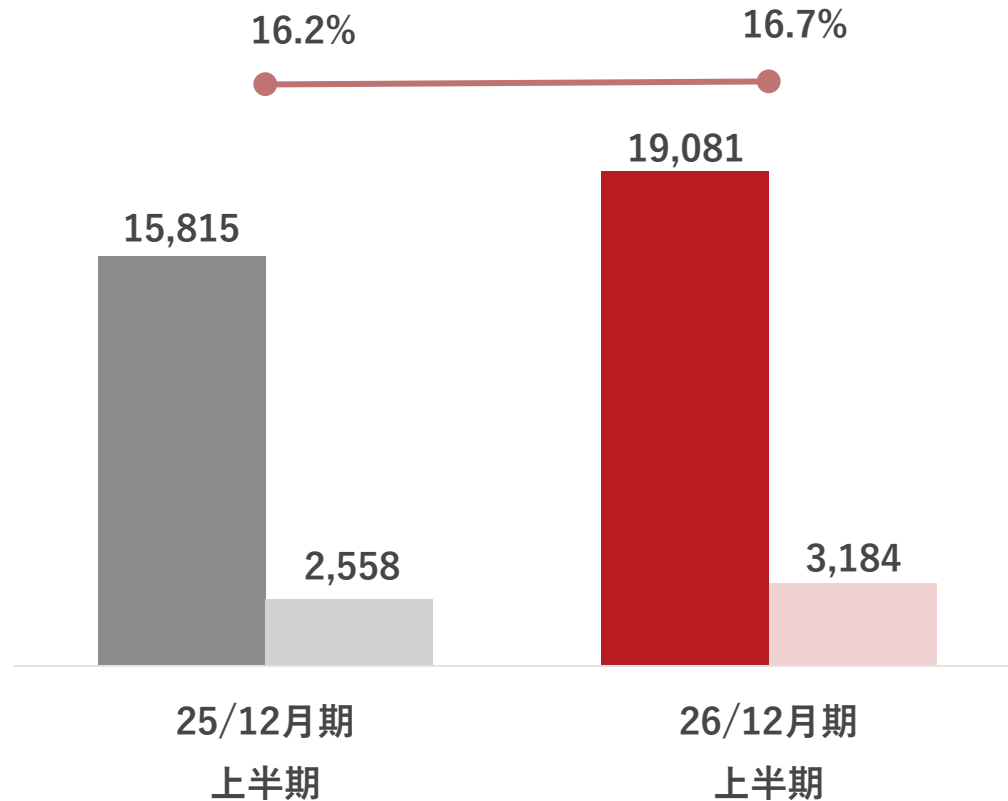
- ・ プロ向け・エントリー向けともに堅調な需要を背景に増収基調を維持

事業EBITDA +42.2% / 為替影響除く +19.3%

- ・ 増収及び為替の円安効果により増益

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円

**売上収益 +20.7% / 為替影響除く +13.3%**

- 米国の市場停滞の中、手頃な価格帯のJLab製品は支持を集め、シェア拡大に寄与
- 米国外への展開も進展

事業EBITDA +24.5% / 為替影響除く +16.9%

- 26/12月期 上半期に特殊要因により+6億円の利益が発生
 - 米国関税の還付：約+10億円
 - 欧州大手代理店の破産申請に伴う損失：約△4億円
- 特殊要因を除くと、米国関税の適用に伴う粗利率の一時的な低下や計画に基づくマーケティング投資等により利益率が低下

単位：百万円	25/12月末	26/6月末	増減額		合計
			M&A ^{*1}	その他	
現金及び現金同等物	97,399	64,946	△29,811	△2,642	①△32,453
売上債権及びその他の債権	16,871	26,840	+4,470	+5,497	+9,968
棚卸資産	23,701	27,282	+2,200	+1,381	+3,581
のれん	50,333	115,379	+64,620	+426	②+65,046
無形資産	73,697	85,405	+11,587	+120	③+11,707
その他資産	39,794	47,269	+8,288	△813	+7,474
資産合計	301,798	367,124	+61,355	+3,970	+65,325
仕入債務及びその他の債務	8,132	15,139	+5,624	+1,382	+7,007
借入金	29,414	78,490	+50,000	△924	+49,075
その他負債	35,660	40,782	+5,730	△608	+5,122
負債合計	73,208	134,413	+61,355	△150	+61,205
資本合計	228,590	232,710	-	+4,120	+4,120
有利子負債	29,414	78,490	+50,000	△924	+49,075
現金性資産	114,776	78,368	△29,810	△6,597	△36,407
Net Debt	△85,361	122	+79,810	+5,673	+85,483

*1 取得日時点のセンクシアの新規連結及び株式取得と既存借入返済の影響

*2 27/12月期 1QまでにPPAを実施し確定する予定

主な増減要因

①現金及び現金同等物 △324億円

- ・ 営業CF +115億円
- ・ 投資CF △838億円
 - － センクシア買収（株式取得＋既存借入返済） △800億円
- ・ 財務CF +388億円
 - － センクシア買収用ブリッジローン +500億円
 - － 配当金の支払い △40億円
 - － 自己株式の取得 △30億円
- ・ 為替評価による換算差額 +10億円

②のれん +650億円

- ・ センクシア買収に伴う暫定計上額 +646億円*2

③無形資産 +117億円

- ・ センクシア買収に伴う暫定計上額 +116億円*2

Contents

1. 26/12月期 上半期連結業績
2. 26/12月期 通期連結業績予想
3. トピック

主なリスクとして以下を認識（1Qからの更新箇所は赤字でハイライト）

	テイ ボー	浜松メ タル	センク シア	Alpha Theta	JLab	備考
中東 情勢	✓	✓	✓	✓	✓	- 原材料価格及び物流費高騰のリスクあり - 浜松メタルワークスにおいては樹脂材料の調達リスクがあるも、当3Qまでを確保済み。引き続きサプライヤーと連携し、市場環境の変化に備える
半導 体調 達	—	—	—	✓	—	- AlphaThetaにおいて、半導体の需給ひっ迫に対応する必要あり 当期では調達価格が約18億円増加する見込み（中東情勢の影響も含む） 2027年度上半期製造分までの半導体を確保できる見込み、同年下半期から設計変更での対応を計画 - 価格高騰については、適正な価格転嫁を基本方針とし、原価低減に向けた取り組みも行う 上半期に一部製品の価格改定を実施済み。追加の価格改定の実施は需要及びコストの動向を見て判断する予定
米国 関税 政策	—	—	—	✓	✓	- AlphaThetaは前期に関税増加分の価格改定を実施 JLabは下半期に順次価格改定を実施予定 関税の還付手続きについては、AlphaThetaは約10億円を申請し受理待ち。JLabは、上半期までに約10億円の関税の還付あり。残り約3億円も還付申請する予定

上半期の進捗率は高く推移するも、下半期の不確実性を考慮して期初予想を維持

単位：百万円	25/12月期	26/12月期予想	増減額	増減率
売上収益	119,223	167,600	+48,376	+40.6%
事業EBITDA	25,726	35,500	+9,773	+38.0%
営業利益	20,815	26,000	+5,184	+24.9%
営業利益率	17.5%	15.5%	△2.0pt	-
当期利益	15,639	16,800	+1,161	+7.4%
平均為替レート（円）				
米ドル	149.7	150.0	+0.3	
ユーロ	169.0	178.0	+9.0	

上半期の進捗率は高く推移するも、下半期の不確実性を考慮して期初予想を維持

単位：百万円			25/12月期	26/12月期予想	増減額	増減率	増減率 為替影響除く
ものづくり (部品・材料)	テイボー	売上収益	9,145	9,500	+354	+3.9%	+4.9%
		事業EBITDA	2,430	2,500	+69	+2.8%	+4.9%
	浜松メタルワークス *1	売上収益	2,599	2,800	+200	+7.7%	+7.7%
		事業EBITDA	347	400	+52	+15.0%	+15.0%
	センクシア *2	売上収益	-	34,600	+34,600	-	-
		事業EBITDA	-	7,800	+7,800	-	-
	小計	売上収益	11,744	46,900	+35,155	+299.3%	+300.1%
		事業EBITDA	2,778	10,700	+7,921	+285.1%	+286.9%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	売上収益	69,879	76,700	+6,820	+9.8%	+6.8%
		事業EBITDA	19,203	21,000	+1,796	+9.4%	+0.8%
	JLab	売上収益	37,599	44,000	+6,400	+17.0%	+16.8%
		事業EBITDA	4,963	5,400	+436	+8.8%	+8.6%
	小計	売上収益	107,478	120,700	+13,221	+12.3%	+10.3%
		事業EBITDA	24,166	26,400	+2,233	+9.2%	+2.4%
全社費用		事業EBITDA	△1,218	△1,600	△381	-	-
連結合計		売上収益	119,223	167,600	+48,376	+40.6%	+38.9%
		事業EBITDA	25,726	35,500	+9,773	+38.0%	+31.8%

*1 25/12月期の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

*2 2026年2月より連結加入

Contents

1. 26/12月期 上半期連結業績
2. 26/12月期 通期連結業績予想
3. トピック

ノーリツ鋼機

- ESG投資指標「FTSE JPX Blossom Japan」等の構成銘柄に選定

ESG（環境、社会、ガバナンス）投資の代表的な指数として、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する「FTSE JPX Blossom Japan Index」及び「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。

「FTSE JPX Blossom Japan Index」は初選定、「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」については2年連続の選定となります。



**FTSE JPX Blossom
Japan Index**



**FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index**

※1 FTSE JPX Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

※2 FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

AlphaTheta

・ MAVEN社（フランス）を子会社化 ～音楽教育・デジタルサービス領域へ事業を拡大～

音楽制作・音響エンジニアリング分野のオンライン教育プラットフォームを展開するフランスのMAVEN SAS（以下、MAVEN社）の全株式を取得し、子会社化することを決定しました。MAVEN社は、世界的に著名なプロデューサーらによる動画コンテンツ等を提供する「Mix With The Masters」を展開し、グローバルな音楽制作コミュニティで高い評価と信頼を獲得しています。本件により、DJ機器をはじめとするハードウェアと、動画教育・ソフトウェアサービスをシームレスにつなぎ、世界中の音楽プロデューサーやクリエイターへ新たな価値体験を提供するとともに、グループの持続的な成長を図ってまいります。

MAVEN SAS 会社概要

名称	MAVEN SAS
所在地	30, rue Boyer, 75020 Paris, France
代表者の役職・氏名	President Victor Levy-Lasne（代行機関：NUNC）
事業内容	音楽制作およびサウンドエンジニアリングに関するオンライン教育サブスクリプションプラットフォームの運営
資本金（2025年12月31日現在）	100,000 ユーロ（18 百万円）
設立年月日	2010 年 7 月 15 日

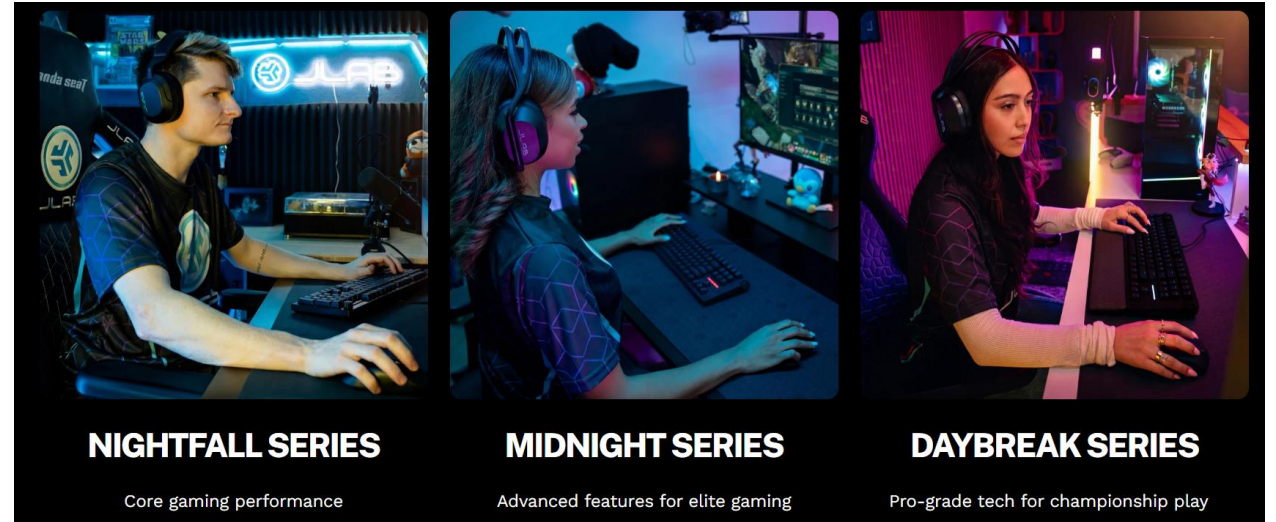


JLab

・ゲーミング製品の強化～「Nightfall」「Midnight」「Daybreak」シリーズ～

2026年1月のCESで発表後、JLabはヘッドセット、キーボード、マウスなど、高性能で手頃な価格帯のゲーミング製品を幅広く取り揃えました。従来のNightfallに加え、新たにMidnight及びDaybreakシリーズを追加。様々なユーザーニーズに応えるラインアップになっています。JLabはカジュアルゲーマーから熱心なプロフェッショナルまで、あらゆるユーザーにあった選択肢と優れた機能・体験を提供します。

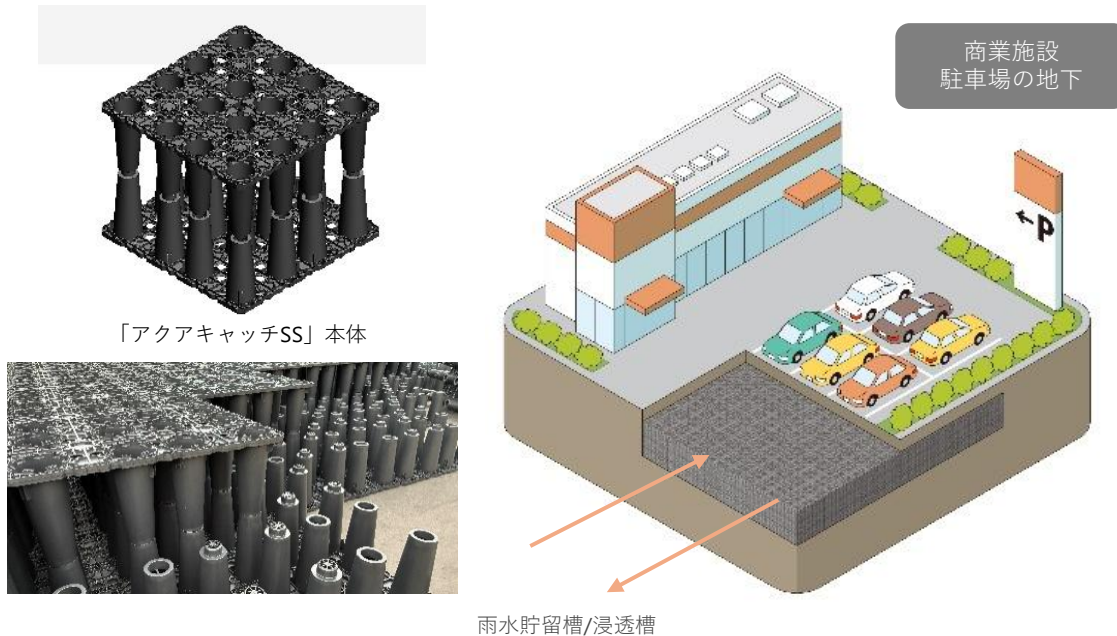
※Nightfall（カジュアル向け）、Midnight（熱心なゲーマー向け）、Daybreak（プロゲーマー向け）



センクシア

・ 「アクアキャッチ SS」を商品化

建築構造部材で培った技術力を応用し、プラスチック製雨水貯留槽/浸透槽「アクアキャッチ SS」を商品化しました。近年増加する集中豪雨や都市型水害への対策として開発された本商品は、業界最強クラスの強度と優れた貯水効率を両立しています。



浜松メタルワークス

・ 韓国「SIMTOS 2026」に出展

2026年4月に韓国で開催されたソウル国際工作機械展覧会「SIMTOS 2026」に出展しました。浜松メタルワークスのブースでは、主力のボールねじ用循環部品を中心にアピールを行い、韓国や台湾などの機械メーカーと面談を実施しました。





Appendix

為替影響の概要			25/12月期地域別売上収益構成比				
			日本	中国	APAC ^{*1}	EMEA ^{*2}	北米・中南米
ものづくり (部品・材料)	テイボー	グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため対米ドル、対ユーロともに影響は僅少	26.6%	23.3%	15.7%	13.1%	21.3%
	浜松メタルワークス	国内での取引が大きいため、対米ドル、対ユーロともに影響は僅少	99.3%	0%	0%	0.7%	0%
	センクシア	国内での取引が大きいため、対米ドル、対ユーロともに影響は僅少	100%	0%	0%	0%	0%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル - EMEAの売上収益が大きいため、対ユーロで円安は利益プラス - 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入と相殺されるため、対米ドルの影響は軽微	7.1%	3.7%	7.9%	49.4%	32.0%
	JLab	- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル - 米国の売上収益が大きいため、対米ドルで円安は利益プラス - 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微	0.3%	0.1%	2.2%	15.8%	81.6%

*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

※2026年2月13日更新

為替レート（平均）の1円円安による影響額

通貨	26/12月期予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA/営業利益
米ドル	150.0円	+5.2億円	+0.4億円
ユーロ	178.0円	+2.1億円	+1.7億円

単位：億円			25/12月期 上半期	増収/減収	粗利率	販管費	為替影響	26/12月期 上半期
ものづくり (部品・材料)	テイボー	事業EBITDA	11	+1	+2	△1	-	13
		マージン	24.4%	-	+4.1pt	△1.3pt	-	27.2%
	浜松メタル ワークス*1	事業EBITDA	2.2	+0.4	△0.6	+0.1	-	2.1
		マージン	18.2%	-	△4.2pt	+1.9pt	-	15.9%
	センクシア	事業EBITDA						37
		マージン						24.1%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	事業EBITDA	102	+24	+1	△5	+24	146
		マージン	30.0%	-	+0.5pt	+1.6pt	+2.7pt	34.8%
	JLab	事業EBITDA	26	+9	+5	△10	+2	32
		マージン	16.2%	-	+3.0pt	△2.5pt	+0.0pt	16.7%

*1 25/12月期の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

単位：億円

25/12月期上半期	73	
営業利益	+72	
投資区分	+12	・ 為替差損益 +13 （25/12月期 1Q △8 / 26/12月期 1Q +5）
財務区分	△6	・ 利息増加
法人所得税費用	△27	・ 増益による税金増加
非継続事業からの損益	+0	
26/12月期上半期	124	



		24/12月期				25/12月期				26/12月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
テイボー													
売上収益	百万円	2,713	3,130	2,975	3,155	2,252	2,219	2,289	2,384	2,283	2,500		
事業EBITDA	百万円					462	628	616	725	542	758		
事業EBITDAマージン	%					20.5%	28.3%	26.9%	30.4%	23.7%	30.3%		
事業別売上高													
筆記	百万円	1,778	2,033	1,820	1,934	1,794	1,777	1,776	1,847	1,783	1,971		
コスメ	百万円	253	354	321	319	283	306	354	363	361	399		
その他	百万円	150	140	169	193	174	134	158	172	138	128		
浜松メタルワークス*1													
売上収益	百万円	579	648	646	725	579	648	647	726	682	651		
事業EBITDA	百万円					99	123	83	42	113	98		
事業EBITDAマージン	%					17.2%	19.0%	12.8%	5.8%	16.6%	15.1%		

*1 25/12月期の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

		24/12月期				25/12月期				26/12月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	百万円	9,088	8,849	8,269	8,655	9,641	8,389	8,744	8,047	9,160	8,544		
事業EBITDA	百万円	2,279	2,295	2,036	1,903	2,381	1,872	1,875	1,653	2,088	2,072		
事業EBITDAマージン	%	25.1%	25.9%	24.6%	22.0%	24.7%	22.3%	21.4%	20.5%	22.8%	24.3%		
受注高	百万円	5,224	7,945	8,536	10,457	5,739	8,858	8,608	9,641	8,101	10,284		

		24/12月期				25/12月期				26/12月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	百万円	18,934	14,326	15,513	13,814	17,382	16,914	17,947	17,633	22,829	19,200		
事業EBITDA	百万円	6,707	3,986	5,053	1,883	5,509	4,765	5,592	3,335	8,477	6,135		
事業EBITDAマージン	%	35.4%	27.8%	32.6%	13.6%	31.7%	28.2%	31.2%	18.9%	37.1%	32.0%		
地域別売上高													
日本	百万円	870	1,000	1,022	1,200	1,057	1,109	1,404	1,359	1,408	1,531		
中国	百万円	714	690	540	519	570	678	591	738	630	739		
APAC	百万円	1,031	1,341	1,159	1,551	1,153	1,140	1,329	1,882	1,731	1,423		
EMEA	百万円	10,397	6,129	7,852	5,907	8,568	8,653	8,408	8,900	11,591	9,051		
北米・中南米	百万円	5,921	5,164	4,937	4,635	6,032	5,334	6,214	4,752	7,466	6,454		
DJ機器出荷台数													
DJ機器出荷台数	千台	180	155	177	164	187	185	205	210	253	185		
DJ向けアプリケーションMAU	万人	82	85	86	92	94	101	105	110	110	116		

		24/12月期				25/12月期				26/12月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	百万円	5,274	8,384	7,184	11,132	6,986	8,828	9,557	12,226	7,802	11,279		
事業EBITDA	百万円	728	1,573	471	1,620	899	1,659	1,542	862	325	2,858		
事業EBITDAマージン	%	13.8%	18.8%	6.6%	14.6%	12.9%	18.8%	16.1%	7.1%	4.2%	25.3%		
地域別売上高													
日本	百万円	16	17	20	14	19	21	34	35	32	33		
中国	百万円	—	29	15	18	15	9	6	13	0	5		
APAC	百万円	31	127	175	245	160	71	354	241	113	160		
EMEA	百万円	884	1,049	1,600	1,746	985	1,369	1,756	1,821	1,188	1,240		
北米・中南米	百万円	4,340	7,160	5,372	9,107	5,806	7,356	7,406	10,114	6,467	9,839		
北米・中南米比率													
北米・中南米比率	%	82%	85%	75%	82%	83%	83%	77%	83%	83%	87%		

社名 ノーリツ鋼機株式会社（プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,685,848,200円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役	岩切 隆吉	取締役 (監査等委員)	太田 晶久
	横張 亮輔		高田 剛
	村瀬 和絵		町野 静

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社
泰宝制笔材料(常熟)有限公司
（テイボー100%子会社）
・ マーキングペン先部品の中国における製造・販売拠点
株式会社 soliton corporation
（テイボー100%子会社）
・ コスメ用ペン先部材の製造・販売

* テイボーホールディングス株式会社はノーリツ鋼機の100%子会社です

部品・材料

MIM製品の製造事業

浜松メタルワークス株式会社

会社名 浜松メタルワークス株式会社
代表者 代表取締役社長 向秀和
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 MIM製造部品の製造・販売及び研究開発

部品・材料

建材機器、製造・販売及び関連工事事業

センクシア株式会社

会社名 センクシア株式会社
代表者 代表取締役 林 雄一
資本金 5億円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 建材機器の製造・販売及びそれらの関連工事

■グループ会社
株式会社免制震デバイス
・ 免震・制震(制振)装置の設計、製作、施工支援、維持管理業務
・ 免震・制震(制振)構造の計画、設計業務
・ 免震・制震(制振)構造の総合的企画業務

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
（旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■グループ会社
AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.
AlphaTheta SG Pte. Ltd.
AlphaTheta Technology Vietnam Co.,LTD

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Win Cramer , CEO
資本金 19M USD
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売

NORITSU

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、
これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、
いかなる確約や保証を行うものではありません。